

平成26年度「宝くじ松」実施団体と趣旨

都道府県	団体名 (植栽地の名称)	本数 (本)	マツの種類と規格(m)	趣旨
宮城県	東松島市 (東松島市宮戸字北麦和田山)	1,000	抵抗性アカマツ H=0.5~1.0	植栽予定場所は、先の津波によって防除が遅れたことから甚大な松くい虫被害を受けている。現在、集中的な伐倒駆除を行っているため、丘陵の一部は立ち木が皆無となっている場所も出始めており、早急な景観修復が必要となっている。 当該地区は、アカマツが海に映える日本三景松島の一角を担っていることから、駆除によって裸地になった場所へ抵抗性アカマツを植栽し、将来的な景観保持に努めたいと考える。
石川県	根上森林連合会 (能美市山口町地内海岸林)	400	抵抗性クロマツ H=0.3	能美市の海岸林は、白砂青松の松林として永きにわたり市民に親しまれ、防砂林として地域住民の生活を守ってきましたが、近年、松くい虫被害の影響により全体の約8割近くが枯れました。これら海岸松林の再生をはかるため、根上森林連合会を地域住民で組織し、行政等と協働して計画的に進めています。今般、当該事業により植栽し、市民・教育機関・企業等が主体となり保育活動に努めていくものです。
愛知県	五葉の森協議会 (五葉の森)	1,000	アカマツ、クロマツ H=0.5	中部電力高圧線下保安のための立木伐採措置に伴い、更地となった森林の水源涵養保安林としての機能回復と、土砂災害防止及び森林資源環境保全のため。
三重県	今一色区自治会 (今一色北浜地区)	200	クロマツ H=0.5	松くい虫の被害による松の枯損や倒木が目立つため、新たに松を植樹し、松林再生をはかる。
高知県	浦戸西南浦松組合 (浦戸西南浦松組合の所有地)	120	抵抗性クロマツ H=0.2	浦戸西南浦松組合は、高知市長浜の沿岸沿いに所有する潮害防備保安林の松を管理しています。毎年、マツノザイセンチュウにより松枯れが発生する都度伐倒駆除を行い、防除のための樹幹注入などを行ってきましたが、枯れ松の発生はなくなり、その度々に補植してきました。しかし、通常の松では成木になるまでに多くが枯れてしまい、松がもつ防潮・防風機能等を十分に発揮できていない現状から、抵抗性松を植え、マツノザイセンチュウによる被害を軽減させることで、松の持つ機能を十分に発揮させていきたい。
福岡県	芦屋町 (鶴松保安林)	1,000	抵抗性クロマツ H=0.5~1.0	本町の森林は、地域住民の生活に密着した里山等の広葉樹と海岸線に臨む松林等の針葉樹で構成されている。自然環境の保全や風害・飛砂・塩害から田、畑、住宅、道路等を守る機能を果たしており、近年の松くい虫の被害拡大により、松が減少し、保安林や林帯がその機能を果たせなくなってきている。 そのため、地域住民と一体となり、抵抗性クロマツの植栽事業を行い、保安林や林帯の保全・育成を行い機能の回復をはかるとともに、町木ともなっているクロマツを次世代へ受け継いでいく。
福岡県	NPO法人はかた夢松原の会 (福岡市西部水処理センター)	400	抵抗性クロマツ H=0.3	博多湾沿岸の埋め立て(1987)によって喪失した松林の再生を始めて26年。多くのボランティアの活動によって人工海浜は防風防潮機能を備えた豊かな自然景観としての白砂青松が整いつつある。西は「生の松原」から愛宕浜、百道浜、地行浜、伊崎浜そして西公園と松林が保全される中、西部水処理センター北部法面のおよそ500m(幅5.2m)の空間で松林が途絶えている。この地に松苗を植え、松林によって自然景観とさまざまな機能を有する日本の原風景を再生することができる。
	合計	4,250		